

引用文献

- 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室, 2019. 環境省レッドリスト 2019 の公表について. <https://www.env.go.jp/press/106383.html> (2020 年 3 月 3 日参照).
- 北野 忠・村木 凌・河野裕美, 2017. 飼育下におけるヒメフチトリゲンゴロウの成長過程. 西表島研究 2016, 東海大学沖縄地域研究センター所報: 16-24.
- 中島 淳, 2015. ナカジマツブゲンゴロウ. p. 247. 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 (編), レッドデータブック 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物 5 昆虫類. ぎょうせい, 東京.
- 中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之, 2020. 日本の水生昆虫. 351 pp. 文一総合出版, 東京.
- Watanabe, K., 2019. Ecological notes on *Laccophilus nakajimai* Kamite, Hikida & Satô, 2005 (Coleoptera, Dytiscidae). *Elytra*, Tokyo, (n. ser.), 9: 279-283.
- Watanabe, K. & M. Hayashi, 2019. Reproductive ecology and immature stages of *Copelatus masculinus* Régimbart, 1899 (Coleoptera, Dytiscidae). *Elytra*, Tokyo, (n. ser.), 9: 269-278.
- 渡部晃平・加藤雅也, 2017. 飼育下におけるスジゲンゴロウの繁殖生態. さやばねニューシリーズ, (25): 36-41.

(山崎 駿 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
千葉大学理学部化学科)

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町 3 番地
石川県ふれあい昆虫館)

【短報】タマキノコムシ科クシモモタマキノコムシ属の 3 種目の種の発見について

タマキノコムシ科クシモモタマキノコムシ属 (*Triarthron* 属) は, Märkel (1840) が欧州産の *T. maerkelli* Märkel, 1840 をタイプ種とする 1 属 1 種として記載された属なので, 歴史は相当古い. しかし, 欧州ではその後, 複数の種が同属の新種として記載されるも, シノニムとなったり, 他属に移されたりしたので, 旧北区の同属種数は 19 世紀半ばの 1 種のままであった (Hoshina, 2020). 我が国では,



図 1. バースクシモモタマキノコムシ.

Hisamatsu (1985) が群馬県産標本を元に *T. maerkelli* を日本産種として初記録した. 属名と種名は共にクシモモタマキノコムシとなっている. 現在, 国内ではクシモモタマキノコムシは本州と北海道から記録がある (Hoshina, 2010). 新北区では,

Horn (1868) が, *Triarthron lecontei* Horn, 1868 をカルフォルニアから記載した. しかし, その後, 本属はいくつかの種が追加されても, 最終的にはシノニムにされてしまうと言う, 旧北区と同様の経緯をたどった. 結局, あの広大な北米大陸をして, クシモモタマキノコムシ属は *T. lecontei* の 1 種が知られるのみである (Peck & Cook, 2009).

筆者は昆虫写真家の伊藤ふくお氏が奈良県で採集した標本を元に, 同属としては約 150 年ぶりの新種 *Triarthron itoi* Hoshina, 2020 を記載した (Hoshina, 2020) (図 1). 体が大きく, また同属としては世界で 3 番目の種であることから, 阪神タイガースの往年の 3 番バッターのランディ・バース選手からお名前をお借りし, 本稿にてこの種に対し「バースクシモモタマキノコムシ」との和名を与える. このバースクシモモタマキノコムシは体長が 4.8 mm で, 約 3 mm のクシモモタマキノコムシより明らかに大きく, また中脚と後脚の腿節の形態, 及び雄交尾器の形態によっても区別できる. これら形状の具体的な違いについては, オープンアクセスとなっている Hoshina (2020) を参照していただきたい.

最大の疑問は, 広大なユーラシア大陸と北米大陸に 1 種ずつしか生息していないのに, 極東の島国の日本にはなぜか 2 種も分布する点である. しかも, 4 種目と疑われる日本産標本も筆者の手元にあり, 謎は深まるばかりである. その疑問につき, 今のところ筆者は何かしらの推測に到達できていない.

末筆ながら, バースクシモモタマキノコムシのホロタイプとなった標本を調べる機会を与えて下さった, 大阪市立自然史博物館の初宿成彦博士に厚く御礼申し上げる.

引用文献

- Hisamatsu, S., 1985. Notes on some Japanese Coleoptera, I. Transactions of the Shikoku Entomological Society, 17: 5-13.
- Horn, G. H., 1868. New species of Coleoptera from the Pacific district of the United States. Transactions of the American Entomological Society, 2: 129-140.
- Hoshina, H., 2010. Review of the tribes Sogdini and Leiodini (Coleoptera: Leiodidae) from Japan, I. The Memoirs of the Research and Education Center for Regional Environment, University of Fukui, (17): 11-16.
- Hoshina, H., 2020. Discovery of a new species of the genus *Triarthron* Märkel, 1840 (Coleoptera, Leiodidae) with a key to Japanese species of the tribe Sogdini. ZooKeys, 938: 87-95.
- Peck, S. B & J. Cook, 2009. Review of the Sogdini of North and Central America (Coleoptera: Leiodidae: Leiodinae) with descriptions of fourteen new species and three new genera. Zootaxa, 2102: 1-74.

(保科英人 910-8507 福井市文京 3-9-1
福井大学教育学部)